

九州支部

大分医科大学第2内科

後藤陽一郎, 後藤育郎

後藤 純, 田代隆良, 明石光伸

那須 勝, 糸賀 敬

同 第2外科

葉玉哲生, 調 丞治, 賀来清彦
長門記念病院 長門 宏

珪肺で経過観察中, 肺門部早期肺癌を合併した症例を経験したので報告した。症例は, 67才, 男性, 咳嗽が持続するため昭和58年2月気管支鏡検査を施工し, 左上幹に気管支壁内に局限した高分化扁平上皮癌の確診をえて3月左上葉切除術を行なった。

19. 稀な組織像 (Adenocanthoma with pseudosarcomatous proliferation) を呈した肺癌の1例

宮崎医科大学第2外科

中嶋試司, 柴田紘一郎

和気典雄, 林 麻美, 井上正邦

鬼塚敏男, 迫田耕一郎

関屋 亮, 古賀保範

同 第1病理

住吉昭信

同 第2病理

河野 正

組織発生上より稀な Adenocanthoma with pseudosarcomatous proliferation の組織像を呈する肺癌の一例を経験したので報告する。

20. Colony stimulating factor 産生肺癌の一例

久留米大学第一外科

大森康弘, 児玉一成, 磯辺 真

武岡有旭, 枝国信三, 掛川暉夫

57才の男性, 咳嗽, 喀痰で発症し, 異常な好中球増多を伴ない, X線上, 右上肺野に7×8cmの腫瘍を認めた症例で, 手術後, 皮下転移巣より colony stimulating factor (CSF) が産生されていることが認められ, 白血球過増多はCSF産生によるものであることが証明された。

21. Colony stimulating factor

産生肺癌と思われる一例

鹿児島大学1外科

三谷惟章, 有村利光, 山王邦博

下高原哲朗, 浜畑弘記

草野 力, 高尾尊身, 西 満正

同 腫瘍研

菊池 博, 松元 実

臨床的及び実験的にヌードマウス移植, CSF活性の検討からCSF産生肺癌と思われる一切除例(低分化腺癌)を報告した。

22. 胸廓内に病変を有したホジキン病の二例

鹿児島大学第一外科

有村利光, 下高原哲朗

山王邦博, 徳重正弘, 才原哲史

金子洋一, 三谷惟章, 西 満正

同 放射線科

久木原上子, 小山隆夫

同 第二内科

大窪利隆, 植松俊昭

野村紘一郎, 橋本修治

縦隔原発と頸部原発の2例について報告した。

23. び慢性中皮腫の1例

長崎大学第2内科

福田義昭, 井上祐一, 中西久貴

植田保子, 神田哲郎, 鈴山洋司

山口恵三, 重野芳輝, 齊藤 厚

原 耕平

長崎大学第一外科

綾部公懿, 富田正雄

長崎大学検査部病理 津田暢夫 三菱病院内科 塚本竹久

54才男性, 56年8月胸膜炎出現し某病院へ入院治療したが治らず胸筋生検, 胸水検査数回施行。57年1月開的生検により中皮腫の診断がついた。ADMにて対症したが, 58年4月死亡した。アスベストの仕事に従事の職業歴があった。

24. 良性疾患との鑑別に困難をきたした肺癌の一例

熊本大学第二外科

荒木昌典, 大嶋寿海, 山下純一

島田信也, 中川昭十, 赤木正信 同 第一内科 興梠博次

発症時Consolidation様陰影で始まり, 早期より空洞形成が認められ, しかも薄壁空洞であり, 良性疾患との鑑別が困難であった末梢型SCC肺癌を経験したので報告する。

25. Eaton-Lambert症候群を呈した肺小細胞癌の1例

国療沖縄病院

久場睦夫, 川平 稔, 石川清司

国吉真行, 源河圭一郎

琉球大学

中野政雄, 外間政哲

症例は65才の男性, 昭和56年11月より構音障害, その後, 嚥下障害, 眼瞼下垂, 腰部から下肢の脱力出現。胸写上, 右肺門部に腫瘍陰影。組織診はoat cell ca. Tensilon test (-)。筋電図上, 低頻度刺激でwaning, 10Hz以上の刺激にてwaxingを認める。放射線及び化療にて臨床的改善をみた。

26. 珪肺合併原発性肺癌の検討 大分医科大学第二内科

田代隆良, 後藤 純, 後藤育郎

後藤陽一郎, 明石光伸

那須 勝, 糸賀 敬

同 第二外科

葉玉哲生, 調 丞治,

長門記念病院

長門 宏, 三浦 肇

珪肺合併肺癌16例について検討した。発症部位では左右8例づつであり, 肺葉別では上葉9例, 下葉7例であった。組織型別では扁平上皮癌7例, 大細胞癌4例, 小細胞癌3例, 腺癌1例, 腺扁平上皮癌1例であった。これらより発癌過程に対し若干の考察を加え報告した。

27. 原発性及び転移性肺腫瘍の臨床的検討

長崎大学第二外科